

2021年12月10日

公益財団法人 日本テニス協会

## 日本テニス協会アスリート委員会発足について

公益財団法人日本テニス協会(以下「JTA」)は、アスリート委員会を設置し、11月29日に第1回となる委員会会議を実施しました。任期は2023年3月末までとなります。

11月29日の第1回委員会会議では、委員長と副委員長の選任を行い、委員長に長野宏美氏、副委員長に山崎純平氏(※)、土居美咲氏(※)、羽澤慎治氏(※)、岡本秀貴氏、岡川恵美子氏を選出しています。正式には12月17日に予定されている臨時理事会での決議事項となります(※は現役選手)。

委員会は、競技環境の整備をはじめとした、JTAの事業についての選手の意見を、組織運営に反映させる役割を担います。今後は年に2回の会議開催を予定しており、当面は委員長と副委員長が中心となって、令和4年度の事業計画案を検討していきます。

JTAでは、スポーツ庁が2019年6月に作成したガバナンスコードに対応する形で、2021年4月にアスリート委員選考委員会を設置。規程の策定、委員の公募などを行い、10月13日の常務理事会で、現役アスリート10名、アスリート経験者10名、計20名(男性11名、女性9名)の委員を決定しました。

以上